

日本調剤株式会社に対する 「Mizuho 人的資本経営インパクトファイナンス」の実行について

株式会社みずほ銀行（頭取：加藤 勝彦、以下「みずほ銀行」）は、日本調剤株式会社（代表取締役社長：笠井 直人、以下「日本調剤」）に対し、本日、調剤薬局業界初となる「Mizuho 人的資本経営インパクトファイナンス」（※1、以下「本商品」）を実行しました。

本商品は、みずほリサーチ&テクノロジーズ株式会社（取締役社長：吉原 昌利、以下「みずほリサーチ&テクノロジーズ」）が国内外で信頼性の高い人的資本に関する情報開示のガイドライン（IS030414、内閣府人的資本可視化指針等）を参考に開発した評価手法を用いて、企業の人的資本経営に関する可視化・開示と実践の取り組みをスコアリングし、一定のスコア以上を満たしたお客さまに対し、みずほ銀行が融資を行う商品です。また、みずほリサーチ&テクノロジーズによる定期的なモニタリングとフィードバックを行い、お客さまの人的資本経営の継続的な取り組みを支援していく商品です。

なお、評価手法を含む本商品のフレームワークについては、株式会社日本格付研究所（以下「JCR」）から環境省の「インパクトファイナンスの基本的考え方」に整合する旨の意見書を取得しています（※2）。

日本調剤は、会社を支える人材を重要な「資本」と捉え、「多様な人材の育成と活躍」を同社マテリアリティにおける重要課題グループの一つに据え、採用、育成、評価およびエンゲージメント等の施策の推進と積極的な投資を行い、自律的に学び成長する社員の育成と、それを協調して成し遂げる風土を創出し、持続的な企業の成長を目指すなど、人的資本経営を実践しています。

みずほ銀行およびみずほリサーチ&テクノロジーズは、日本調剤が以下の領域における取り組みを開示していることを高く評価しています。

- ・健康・安全領域：

健康経営戦略マップに、健康経営で解決したい経営課題と健康投資（人材投資）を明示し、それらのアウトプットとアウトカム（KPI）、KGI を開示していること。また、具体的施策では、産業医や保健師、理学療法士などが携わった健康にまつわるオリジナル動画の作成を行い、毎月社員へ配信する取り組みを開始したこと、ストレスチェックでは 50 人以上の事業所に限らず実施し、その実施状況を開示していること。

- ・ガバナンス領域：

取締役会の実効性の向上のため、実効性の評価を実施することが説明され、そのプロセスを図示して開示が行われていること。更に実効性の評価で課題とされた「後継者計画」、

「中核人材の多様性の確保にかかる監督」といった具体的な内容も合わせて開示を行っていること。

〈みずほ〉は、各企業が中長期的な企業価値向上につながる人的資本経営を実践することが重要と考えています。本商品の提供を通じ、継続的なエンゲージメント（建設的な対話）を行うことで、お客さまの持続的成長、及び中長期的な企業価値の向上に貢献することを目指すとともに、国内における人的資本経営の取り組みの普及・促進に貢献していきます。

※1 「Mizuho 人的資本経営インパクトファイナンス」

2023年5月30日付プレスリリース「「Mizuho 人的資本経営インパクトファイナンス」の取り扱い開始について」

https://www.mizuhobank.co.jp/release/pdf/20230530_2release_jp.pdf

※2 株式会社日本格付研究所のウェブサイト

<https://www.jcr.co.jp/greenfinance/>

以 上